



9店舗の店主らの似顔絵や館内の地図が描かれたベルビアきらり会のポスター

茅野市のJR西口ベルビア内の9店は、地域住民への周知や集客を図るため「ベルビアきらり会」を発足

「ベルビアきらり会」発足

9店舗が活性化へ連携

茅野

茅野市のJR西口ベルビア内の9店は、地域住民への周知や集客を図るため「ベルビアきらり会」を発足させた。各店の繁盛やベルビアの活性化を目指し、連携して各種イベントなどに取り組む。第1弾として、各店の店主や従業員計17人の似顔絵や館内図を描いたポスターを2枚作製。広場に張り出しているほか、各店の紹介ポスターを店頭に掲示している。

9店は昨年、全国商店街支援センターの「きらり輝く繁盛店づくりセミナー」を受講。それぞれが6カ月間、講師とともに店の問題点などを探して改善点を考えた。セミナーで学んだことを基に、自店のみならず、他店と連携して繁盛できないかを検討した。「お客さんが豊かで幸せな生活を送るためのサービスを提供できるきらり」とした店づくりをコンセプトにきらり

り会を作った。

第1弾のポスターは、どんな人がどの店で働いているのか、どのような店がベルビアにあるのかを来店者に紹介し、親しみを持ってもらうために作製した。写真よりも温

かい印象を与えるだろうと店員紹介は似顔絵にし、店名も手書きにして張り出している。このほか同会は15日から、発足を記念して買い物客に花や野菜の種をプレゼントする。

会員は「店を初めて出したときの気持ちでお客さんを迎えたい。1人でも多くの人にベルビアや各店を知ってもらえるようさまざまな活動を考えたい」と意気込んでいる。

(朝倉生羽)